

ヘルスケアサービス社会実装事業

令和4年度予算額 7.5億円（7.0億円）

事業の内容

事業目的・概要

- コロナ禍において、人々に予防・健康づくりの価値が再認識される中、ウィズ/ポストコロナに向け、社会全体の健康投資の更なる促進とともに、適切なヘルスケアサービスが創出され、活用される環境（社会実装の仕組み）の整備が重要です。
- 具体的には、
 - ① 予防・健康づくりへの投資を促進するため、健康経営の更なる普及拡大とともに、より効果的な取組の評価・分析や情報開示等を推進し、社会全体で「健康」に投資することの価値を可視化します。
 - ② 新たなヘルスケアサービスの創出と質の向上を図るため、サービス提供主体の自主的な質の向上を促すとともに、ヘルスケアサービスの社会的・経済的効果を確認するための実証等を行います。

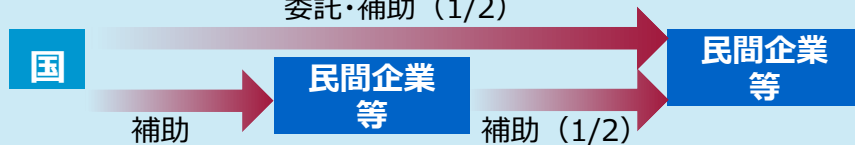
同時に、個人に即したヘルスケアサービスの提供を目指し、人々が自身の健康等情報を健康づくり等に活用できる仕組みであるPHR（Personal Health Record）を適切に利活用したサービスが創出され、人々に広く活用されるための環境整備に取り組みます。

成果目標

- 令和4年度までの3年間の事業であり、健康・医療戦略で設定されるKPIの達成を目指します。
- 令和4年度までの3年間の実証を実施後、その成果を踏まえて、健康経営優良法人制度等、疾病予防や介護予防の促進等に関連した施策への反映を検討します。

条件（対象者、対象行為、補助率等）

委託・補助（1/2）



事業イメージ

① 予防・健康づくりへの関心向上と健康への投資促進



- 上場企業の健康経営の取組強化に取り組みます。
 - ・健康経営の取組に関する評価結果の開示等と、社会から評価される仕組みの構築
 - ・国際的な展開を見据えた、健康経営の共通の評価指標の創出
- 中小企業への健康経営の拡大に取り組みます。
 - ・健康経営による企業の生産性向上の効果の検証
 - ・健康経営のメリットの可視化を通じた労働者等のステークホルダーからの評価向上
 - ・サプライチェーン等、健康経営のスキームの拡大

② 新たなヘルスケアサービスの創出と質の向上

- 新たなヘルスケアサービスの創出と質の向上を図るため以下に取り組みます。
 - ・ヘルスケアスタートアップ企業への支援（InnoHub、JHeC等）
 - ・地域におけるヘルスケアビジネスの創出のための実証の支援
 - ・認知症共生社会の実現に向けて、認知症の方・ご家族の方のQOL向上やインフォーマルケアコスト削減等の社会的・経済的効果に関する事業者等による実証の支援
 - ・ヘルスケアサービスの質を担保するための業界自主ガイドラインの策定の支援
- PHRを利活用したサービス普及のために以下に取り組みます。
 - ・今後の国内PHRサービスの発展に向けた調査・検討
 - ・より高いサービス水準を目指すためのガイドラインの策定の支援
 - ・データポータビリティ確保に向けた調査

